

2010.JAN

釣り人が創る逸品釣具

ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第14号です。

新年あけましておめでとうございます。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

初釣りは行かれましたでしょうか。私は元旦は飲んだくれて2日と3日に仕事の釣り(遊びも一緒ですが)に行きました。ペイトフックという新製品を大晦日に作り上げて釣行したのですが、これが大当たり。ウミネコを釣った(~_~;)あと81cmのスズキを釣り上げました。

ラインにからまったウミネコを引き寄せて羽根からPEラインをほどいてやるときに噛まれて激痛をともないながらの救助活動だったのですが、完全にほどけて飛び立ったと

き何ともいえない美しい飛び方をしたのが印象的でした。

つまりあのスズキはウミネコが私にくれたプレゼントだったのです。

翌日も欲を出して釣れるかなと竿を振ったのですが海が荒れて結局ボーズでした。(~_~;)

昨日釣れたから今回も同じ仕掛けで釣りに行ったという経験は釣り人なら皆さんあると思います。>^_^<

そしていつも思うのですが海って一日で姿を一変してしまいますね。



旅暮らし四方山話。(その3)

全国のいろんな釣り場でたくさんのゴミを見てしまうと折角の釣りの楽しさが半減してしまいます。

心ない釣り人の糸や鉤に掛かって、命を落とす海鳥や海棲生物は後を絶ちません。しかし私たち釣り人は海や川を前にしていく感謝と敬意の姿勢を持ち続けています。

単純に「ゴミは出さない、生き物の命を粗末にしない」を心がけようと云う小さかな提案を小さなステッカーから始めたいと考えています。

まずはできる範囲で、身近な釣り場の美化と保護にみなさんと一緒に傾注したいと思います。ステッカーをクーラーや身の回りに貼り、不注意な釣り人への啓蒙と

してはいかがでしょう。という提案です。

釣り人が海をきれいにしている。というかたちがほんの少しでもでてくるとそれだけでも釣りがもっと好きになります。釣りだけではないのでこんなコピーにしました。

ごみを捨てば 海がもっと好き！

時代のハワイアン・メンタリティを色濃く残す人々なのです。

このような家族は、お昼になるとほぼ一斉にパーティーの片づけをします。手慣れていて大人から小さな子供まで10人以上のグループが、20分ほどきれいにいなくなってしまう。そして驚きなのは、彼らが去った後にはゴミ一つ落ちていないのです。飲んで食べて遊んで……楽しんだ後はきちんと片付ける。まさに「立つ鳥跡を濁さず」ですね。

日本の海には禁止事項がやたらと多い。釣りはいけない、サーフィンはいけない、ゴミは出してはいけない、ここでは遊んではいけない……

海は誰のものではなく、そこで何をしても良いのです。お互いに助け合い、楽しみ、そして海でのお手本を見せてやれるように努力する。これが本来の海と向かい合う大人の姿勢だと思います。

そこには海に対しての感謝と尊敬が存在しています。

「リスペクト」する気持ちをもって、海が大切に守ることは本当に気持ちいいことなんですね。

海に感謝と敬意……そうすると誰もが心豊かな釣りになりますね。

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。

ハワイでは幹線道路から外れた小さなビーチでゴミ一つない綺麗なところがいくつもあります。ライフガード・タワーとトイレ、シャワーがあるだけのこじんまりとしたビーチ。そういったところは観光客は少なく地元の利用率が多く午前中、数家族のバーベキューが行われています。いわゆるビーチ・パーティというものです。

午前中を家族でゆったりと過ごし、時間の流れが遅い空間です。ほぼ毎日このようなことが行われていますが、一体全体この人たちはいつ働いているのだろうか?というくらいです。こういった人々は非常にフレンドリーで、よそ者の私たちもまったく問題なくビーチの風景に溶け込むことができます。気軽に話し掛けてくれる古き良き



老人と海に学ぶこと

皆さんご存じのアーネスト・ヘミングウェイが書いた「老人と海」です。私は35年前に読みましたが50歳になった今、再度読み返してみるととんでもない感動を覚えました。

英語の題名は The Old Man And The Sea となってます。

シャープの辻晴雄氏の書籍に「考動」という言葉がありました。辞書には載っていません。辻氏の造語です。「事を起こすときは考えて考え抜く。しかしいざ決断したら迷いを断ち切って素早く動かねばならない。企業経営はギャンブルではなくエイヤッとするわけにはいかない。しかしもたもたしていると目の前のチャンスが逃げてしまう。」とありました。

熟考の後は信念をもって事を成し遂げるという意味の「考動」と一致する書物が「老人と海」。

年老いた漁師が死闘の末に巨大なカジキマグロを釣り上げたものの、港へ戻る途中でサメに襲われ、獲物を食べられてしまう物語です。自然界で生を得ることの厳しさを知るとともに、最後の最後まで雄々しく戦い抜く老漁師の姿に、勇気の大切さを覚えます。最後までやり抜くというのはつまりは自分との闘いなんですね。

さてさて、私は人生の最後の最後まで釣具を創って、皆さんと会って、酒を呑んで。 (°_°) \(-;)/ バキッ!

DEEPSの専用コマセ完成！

DEEPSは本当に釣れるカゴです。いえいえカゴという重々しいものではなくナイロンカゴのライトなカゴです。

先々月からこのDEEPS専用のコマセを開発していましたがやっと完成しました。 1.1kgのコマセ袋です。

釣具店で1/16角のアミを購入されて混ぜていただけです。この大きさで3~4時間くらいの釣りができると思います。1月末にリリースさせていただきます。

EZノッターエギング専用リリース

EZノッターはおかげさまでとても売れてます。Gear-Labの中ではダントツの評価をいただき光栄です。これは世界に出しても恥ずかしくない商品だと自負しております。

ただ単価が高いという大きなネックがあります。アルミ切削では作りは綺麗で丈夫なのですが原価高になってしまいます。そこで今回新しくリリースするSSサイズ(エギング専用)のEZノッターを思い切って金型成型することにして樹脂製品でリリースをしようと準備中です。

使用リーダーが1~3号となりますのでメバルはアジングにも使えます。価格もかなり安い単価でお渡しできる予定です。

今年のフィッシングショーでリリースしますのでどうぞご期待ください。

フィッシングショーに出展します。

Gear-Labは下記フィッシングショーに出展します。どちらも小さなブースですがお近くの方は是非遊びにきてください。

フィッシングショーOSAKA2010 2010.2.6~7

インテックス大阪 ただしここはINGさんのブースの間借りですのでEZノッターと数点の出展のみです。

<http://www.fishing.or.jp/>

国際フィッシングショー2010 2010.2.12~14

みなとみらい・横浜パシフィコ

<http://www.fishing-show.com/>

【横浜出展品目】

EZノッター アミてっぽう ROCK ロッドティップ

EZテンショナー タコG PUFF 反転道糸沈め

投魂スナズリ 全遊動ショート天秤・スナズリ プチ三脚

アジ遠投オモリ ムシエサ遠投カプセル 落としてギャフ

サンドカート 堤防ちょい置き 御影 落としてタモー

サビキ専用針外し DEEPS エサラップ 一刀彫餌箱

アジ遠投ウキ セーフデフッカー フロロドライ 御影クランプ ロッドキーパー どこでもトイレコート 活きジメ君

Gear-Labステッカー・Tシャツ Gear-Labピンオンリール

ルアーポケット クーラーボックス強化アイテム(フルセット)

クーラーロッドホルダー ポールアタッチメント

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～～)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com お気楽D E T C H こと福山でした

携帯 090-8406-9591

